

活動名 こども元気塾 with 清光	団体名	こども家庭支援センター清光
	地域	山口県山口市
	代表者	センター長 浅川 寛信
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>児童家庭支援センター(児童養護施設清光園に附置される)における子育て支援事業として実施している「こども元気塾with清光」ですが、当塾の親子による体験教室が、単なる体験だけでなく、子育てに悩むご家庭への支援(父親の子育てへの参加、協力へのきっかけ作り)や、不登校の児童における居場所づくりにも寄与しています。</p> <p>また、今年は助成金を活用し美祢市秋吉への「バスハイク」を敢行し、大自然の中親子による森林浴、自然観察も経験することができました。また、年末の回では数年ぶりに「お餅つき」と「正月飾り作り」を実施。最近では、地域の子供会でもされることない「石臼」と「杵」による餅つきを体験することが出来ました。また、新しい年を迎える準備を、こどもも大人も一緒になって、自ら手作りする貴重な機会となりました。残念ながら、夏に予定されていた「カヌー・ボート教室」については台風のため中止、その後延期も検討いたしましたが、実施することはできませんでした。</p>		
<p>◆実施時期 2013年5月～2014年2月 山口市阿知須、秋穂、美祢市秋吉等</p>		
<p>◆参加人数 幼児14名、児童183名(中学生1名含む)、保護者70名、スタッフ68名</p>		
参加総人員延:335名		



秋バスハイキング



春キャンプ



あじすふれあいまつり(焼き芋)



みんなでお餅つき

◆実施に伴う効果

- ・事前に準備した遊休品と、手作り品をもとに地域のおまつりへ出店
- ・参加する児童も時間帯ごとに、お店の売り子、裏方をその場で決めて、一般の来場者に販売するという「真似事」ではあるが遊びではない、「社会体験」(実際にお金を扱い、販売しその報酬を受け取る)を実践。生まれて初めて「仕事」の大変さを知ったという児童の感想を聞いた。
- ・参加した保護者、児童から地域のこども会活動や、家庭では出来ない年中行事、このたびは「もちつき」「正月飾り」作りを初めて体験し、親子ともども日本の伝統行事を体験する貴重な機会になったと、感謝される方が多くおられた。

◆苦勞した点

- ・今回初となる「春のキャンプ」を実施したが、「こども元気塾」自体に参加することが初めての児童も多くいて、グループとしてのまとまりを意識させ、目的意識を持たせることが、いつも以上に難しさを感じた。
- ・また、このたびは当センター(こども家庭支援センター清光)の支援するご家庭の親子も参加され、「日頃体験出来ない」経験が出来たと喜ばれる反面、特性のある児童による参加ということで、スタッフ自身への負担もこれまでよりも大きくさせてしまったので、年初および各回ごとに説明と配慮が必要と考える。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・こどもの居場所作りの意義は、参加者および地域の方々のもわずかずつであるが、浸透しつつあるが、カリキュラムやイベントの内容に新鮮味が欠けてきていることについては、スタッフの意見もある。
- ・今回初の試みとして協力いただいた「アンケート」をもとに、次年度以降の活用計画の立案に役立てていきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・貴重な助成金のおかげで、秋はバスハイキングも数年ぶりに実施でき、またとない秋吉の「秋」もおとな、こどもともども経験をさせていただき、次年度に弾みのつく活動となったと自負いたしております。スタッフ一同、感謝の念でいっぱいでございます。ありがとうございました。